

テーマ：観光（実践校）

留萌管内 増毛町立増毛中学校

■本実践のポイント（概要）

- ・自分たちの住む地域の歴史や特徴、町の活性化に取り組む人々の願いについて理解することをとおして、ふるさと増毛町に対する愛着や誇りを育むため、地域の自然や歴史、産業、文化、他地域で行われている地域活性化の取組を調査するなどのテーマを設定し、持続可能なまちづくりと活性化について考察し、学校祭において地域住民に提案する学習を設定しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

学習段階及び発達段階に応じた課題として、町の魅力を「見付ける」（第1、2学年）、町の活性化の方策を「提案する」（第3学年）を設定しました。

(2) 情報の収集

第1学年は、地域で活躍する方々からの講話を聞くとともに、北海道遺産である「増毛山道」の踏破、地域に古くから伝わる「影絵紙芝居」の体験などを行いました。

第2学年は、職場体験をとおして地域の産業に触れるとともに、特産品を生産・販売する方々に商品開発について聞き取りました。

第3学年は、修学旅行先で増毛町についてPRするとともに、街頭アンケートを行い、他地域でのまちづくりについて情報収集しました。

(3) 整理・分析

増毛町の自然や歴史、文化、地域産業及び他地域でのまちづくりの取組について収集した情報をもとに、自分たちの町の魅力を再評価し、他地域との比較をするなどして客観的な視点で町の活性化について考え、ふるさと増毛町のよさについて多角的に分析しました。

(4) まとめ・表現

学校祭において、各学年の学習内容を保護者や地域住民に発信しました。効果的な発表となるよう、「影絵紙芝居」の実演や、スライドを用いた分かりやすい説明・提案を行うとともに、観客参加型のクイズを取り入れるなど、工夫したプレゼンテーションを行いました。



【増毛山道踏破体験の様子】



【職場体験の様子】



【学校祭での提案の様子】

②生徒の感想等

- ・増毛山道を実際に歩いたことで昔の人たちの山道づくりにかける苦労や工夫などを感じ、学校祭で保護者や地域の方々に伝えることができた。（第1学年）
- ・特産品の生産者からお話を伺い、おすすめのリンゴの味の特徴やおいしく食べてもらうための調理方法、ジャムの説明など詳しくまとめることができた。（第2学年）
- ・函館市、東川町、東神楽町の取組など学んだことを生かして、「自然環境と建物を融合させたおしゃれな街並みをつくる」など今よりもっと観光客が増える取組を考えることができた。（第3学年）

■取組の成果（○）と課題（●）

- 第1、2学年は地域の特色について理解を深め、第3学年では学習のまとめとして、保護者、地域に町の活性化策を提案することができました。第3学年対象のアンケートにて「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」の項目では、「当てはまる」の回答が令和2年度は0%でしたが、令和3年度は12.5%、4年度は17.5%と増加し、「どちらかといえば当てはまる」を含めると56.5%となり、地域への関心の高まりが見られました。
- ICTを効果的に活用し調査を深めるとともに、発表方法を工夫し、表現活動を充実できました。
- 増毛町の活性化について、より多角的な視点で探究させることができるようにするため、総合的な学習の時間の取組と他教科での学習との関連付けをさらに強くする必要があります。